

ふじかわ

町のメモ

昭和62年1月1日現在
 人口 16,924人
 増減 +27人
 男 8,339人
 女 8,585人
 世帯数 4,416世帯
 面積 31.09km²

富士川町 総務課

1月号 昭和62年1月5日発行 No.306



町のことしの目標
 「健康な心とからだだけで住みよい町に」

おもな内容

- | | |
|--------|--|
| 2~3ページ | 町長の年頭のあいさつ、議長
の年頭のあいさつ、民生・児童委員決まる |
| 4~5 | 12月定例会 |
| 6~7 | 佐野喜平町議会議長逝去、
深澤美智子さんが北米諸国
を訪問、町の62年目標決まる |
| 8~9 | 社会教育あれこれ、マンガ |
| 10 | 戸籍の窓、町への寄付金 |

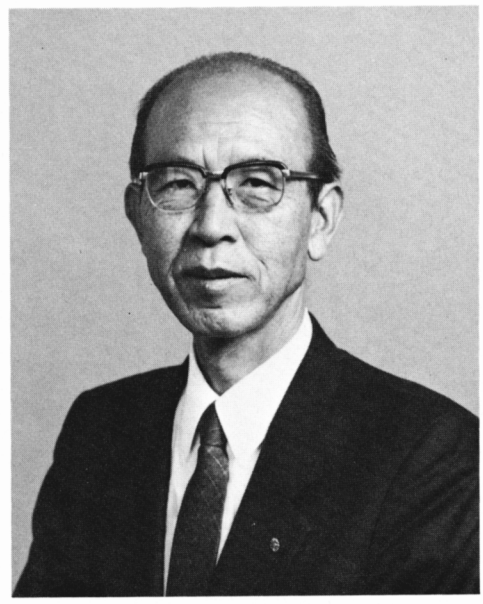
12月14日、松野児童館で「三世代交流のおかざりづくり」が行われ、子どもたちなど約200人が、輪かざりや宝船など5種類のおかざりづくりに挑戦しました。

このおかざりづくりは、児童館が子どもとお年寄りなどの交流を深めることなどを目的として行ったもので、当日、子どもたちは、松野地区老人クラブ（高岡太郎代表）の指導を得て、また、みなみ母親クラブ（竹内みづほ会長）、松野地区育成会（高岡正年会長）の援助や協力を得て、約2時間でりっぱなおかざりをつくりました。

町民のみなさんと英知を出しあって 21世紀を展望できる町づくりを

あけましておめでとーございませす

富士川町長 常葉 雅文



といたしました。野田山健康緑地公園・名勝はたご池とともに、町民のみなさんの心なごむ場所となつていただければ幸いです。

さて、心新たに新年を迎え、来る二十一世紀を展望できる町づくりに、町民のみなさんとともに英知を出しあつて着実に、その施策の遂行に努力していく覚悟であります。

現在、昭和62年度の予算編成作業を進めておりますが、内需拡大のための経済対策の推進・今後の産業構造の転換などを踏まえた雇用対策の推進・社会資本整備など国・県の動向を十分見極めながら財政の健全化を基本姿勢としながらも町民生活の充実と生活環境の整備などのほか、内面充実の十年間を基調とした第二次総合計画での主要事業の推進と町民のみなさんの要望を適確に把握し、施策に反映していく所存であります。

「一年の計は元旦にあり」――町民のみなさんが、毎年、恒例となつている「元旦ジョギングの集い」に朝早くから参加し、親子・家族ともども走り、そして、初日の出を拝む姿に接する時、人はそれぞれみな健康でありたい、という願望を肌と感じます。

- 私は「健康な心とからだに住みよい町に」の町の今年の目標の周知徹底と実践に、町民のみなさんとともに取り組んでまいります。
- 富士川身延線バイパス促進
- 上町小山線の完成
- 中之郷農免農道の開設
- 二中の耐震補強・改築
- 新富士川橋の建設促進
- 総合体育施設の建設検討
- 中野台団地の新しいまちづくり
- 新幹線富士駅設置に伴う広域交通体系の整備促進
- 地場産業の振興
- など、主要事業の推進と自らに課した課題の実現に努力してまいります。
- 本年もみなさんのご支援、ご協力をお願いいたします。

昭和62年の輝かしい新春を迎え、富士川町議会を代表し、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年の国内外の情勢は、非常に厳しいものであります。特に国政においては衆・参同時選挙が行われ、国民の政治への選択がなされ、課題である国鉄改革・老人保健制度の見直し、税制改革などへの対応がなされております。

このような諸情勢のなかで、当町を取り巻く環境も非常に厳

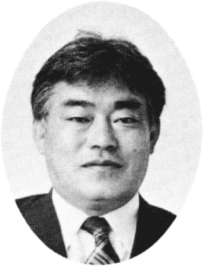
しいものがありますが、町制施行八十五周年・町村合併三十年と当町には記念すべき年でありました。

麗峰富士を仰ぎ、富士川の清流にいだかれて、歴史と伝統をはぐくんでまいりました。

この記念すべき年に、郷土の歩みつづけてきた町の姿を後世に伝えるべき「富士川町史追補三号」を刊行し、また、天皇陛下御在位六十年を奉祝し御製碑の建立、周辺を整備し歌碑公園

議会機能を最大限に発揮し 町発展のため尽力します

富士川町議会議長 坪内 伸浩



昭和62年の輝かしい新春を迎え、富士川町議会を代表し、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

わが富士川町は、昨年、二十一世紀の町づくりを展望した第二次総合計画の初年度として新たなスタートをしました。町議会といたしまして、この計画に沿う各種事業などを慎重に審議し、町発展のため円滑な議会運営を行ってまいりました。

しかしながら、急激な経済状況の変化などにより、国も行政改革や財政再建をめざし、市町村などへの補助金や交付税削減などを余儀なくされているのが現状です。このような現況下、私たちの町を取り巻く社会環境も益々厳しいものがあり、各種事業に与える影響は計り知れないものがあります。

このような局面にあつて、本年は、県道富士川身延線バイパス早期完成、国道一号線新富士川橋建設促進などとともに、町道整備、農免農道整備、上水道第三次拡張事業など、町の発展にとって重要な課題が山積しております。これらの課題を解決すべく、限られた財政を有効に活用し、歳出の効率化などを推進していくことが大切なことでもあります。

私も議会は、町民のみなさんの代表であることを認識し、みなさんの意志を十分反映しながら議会機能を最大限に発揮して職責を果たすと同時に、町当局と両輪となり町発展のため尽力していく所存であります。

みなさんの力強いご支援やご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、みなさんのご健勝とご多幸を心から祈願いたしまして新年のごあいさついたします。

町議会議長に坪内伸浩議員就任

12月13日(土)午前9時から「町議会第七回臨時議会」が議場で開催されました。

同臨時議会では、佐野喜平議長逝去に伴う議長選挙が行われ、選挙の結果、坪内伸浩議員が当選され、第二十八代議長に就任されました。

坪内新議長は、故佐野喜平前議長の残任期間、次の町議会議長としての職務に当たられます。

町の福祉活動の推進役 民生・児童委員決まる

昨年の12月2日、民生・児童委員の辞令交付式が役場で行われ、二十四人の新委員に中部民生事務所長から厚生大臣の委嘱状が交付されました。

引き続き役員改選に入り、総務に太田義雄氏、副総務に芦川希九郎氏、婦人部長に植松勝子さんを選出しました。

民生・児童委員は、低所得者の自立更生への援助をはじめとして、老人・母子・身体障害者などの福祉向上を図るために社会福祉諸施策への積極的な協力

- 員などの議員や委員として、その任務にあたられます。
- 町議会任意委員会
- 議会運営委員会
- 一部事務組合議会議員
- 庵原地区消防組合
- 環境衛生組合
- 県道市町道道路組合
- 共立蒲原総合病院組合(議長)
- 行政委員会及び行政付属機関
- 奨学金審査委員会

- をするなど、幅広い奉仕活動がおもな職務です。
- 向こう三年間、町の福祉活動の推進役として活躍される新委員のみなさんは次のとおりです。
- (内は担当地区です。(敬称略))
- 富士川町民生・児童委員
- 常盤 登 (木島・小山・室野)
- 篠田天秀 (相生町)
- 雨宮 久 (上町)
- 植松勝子 (舟山町)
- 伏見益司 (坂下)
- 渡邊敏定 (旭町)
- 伊東す江 (川坂・堺町)

- 富士川町地域地下水利用対策協議会
- 富士川右岸地域地下水利用対策協議会
- 富士川用水対策委員会
- 表彰審査委員会
- 静岡庵地区広域市町村圏協議会
- 会
- 静岡庵畑地かんがい基盤総合整備促進協力会
- ひまわり学園運営連絡協議会
- (社)社会福祉協議会
- 青少年問題対策協議会

- 若月忠雄 (新町)
- 杉山正作 (新町本町)
- 大屋伊津子 (四十九町)
- 若月幸江 (宮町)
- 中川晴二 (小池・大楽窪)
- 小林直太郎 (本通一・三)
- 渡邊慎一 (本通四・幸町)
- 植松 勝 (東町一)
- 太田義雄 (東町二・日の出町)
- 佐野臣弘 (南町一・かきあな)
- 芦川希九郎 (南町二)
- 佐野謹子 (富士見町)
- 西森千鶴江 (八幡町)
- 渡邊正一 (富士松野・中野台)
- 白井滋賀子 (清水町)
- 大島愛子 (俣下町)
- 大津かほ子 (大北町)

12月定例会

文化事業振興基金積立金や私学助成金を中心として

予算総額は三億三千六百三十九万九千二百円に

町議会の12月定例会が、12月24日(水)午前9時から開会され、常葉雅文町長の一般行政報告を皮切りに、昭和61年度一般会計補正予算など補正予算三件、条例の改正二件、規約の変更一件の合計六件と、意見書二件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

今回の一般会計補正予算は、文化事業振興基金積立金、私学助成金、給与改正等による人件費などを中心として、二億三千六百四十二万六千円を補正、これに要する主な経費は、寄付金や町債などを充当し、予算総額は三億三千六百三十九万九千二百円

町長の一般行政報告

本年を振り返りかえってみますと、国内外の厳しい諸情勢のなかで当町は、町制施行八十五周年・合併三十年と記念すべき年であり、また、昭和70年を目標とした第二次総合計画の初年度でありました。

町民のみなさんのご理解・ご協力のもとに、各種事業を実施いたしましたことは周知のとおり

りです。記念式典、町史追補三の刊行、御製碑の建立・第一公園のシンボルタワーの完成など、町の歴史の一ページに加わるものと確信しています。緑と碧と光のある町づくりを基本理念とした第二次総合計画の初年度として、中野台団地の分譲が開始され、新たな観点にたつてのまちづくりを期待する

となりました。土地取得特別会計は、公有財産購入費などに六千九百九十五万円を補正、これに要する経費は繰入金を充当し、予算総額は九千二百八十八万五千円となりました。国民健康保険特別会計は、保険給付金などに二百八十七万円を補正、これに要する経費は国庫支出金などを充当し、予算総額は五億六千二百三十三万八千円となりました。

なお、一般行政報告や一般会計補正予算などの内容は次のとおりです。



御製碑除幕式風景



改良が進む上町小山線



完成した第一公園シンボルタワー

り、主事業の上町小山線改良工事・第一中学校耐震補強工事・吉津浄水場建設改良工事・防災行政無線工事などを中心に11月末までにその発注額は六億六千五百五十八万三千円となっております。

現在、昭和62年度予算編成作業にはいつていますが、予算編成にあたっては、財政の健全化を基本姿勢とし、町民生活の充実と生活環境の整備などのほか、第二次総合計画での主要事業の推進と町民のみなさんの要望を適確に把握し施策に反映していく所存です。

一般会計のおもな補正内容

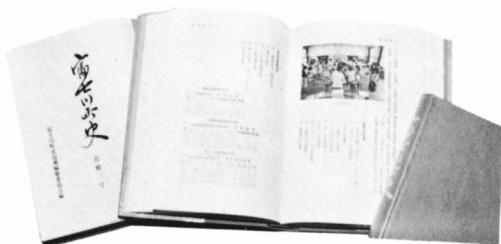
- ◇ 議会費へ 百七十二万七千円
- ◇ 商工費へ 三十六万四千円
- ◇ 総務費へ 三百八十三万六千円
- ◇ 土木費へ 一千七百七十九万円
- ◇ 民生費へ 七百四十四万八千円
- ◇ 富士川由比線改良工事
- ◇ 精神障害者医療助成
- ◇ 医療費一時貸付金
- ◇ 吉津室野線附帯工事
- ◇ 衛生費へ 六百十六万九千円
- ◇ 原方中野線改良工事
- ◇ 農林水産業費へ 四百二十一万四千円
- ◇ 教育費へ 二億八十四万円
- ◇ 県単下三十坂かん排工事
- ◇ 私学振興(さくら台幼稚園)特別助成金
- ◇ 中之郷用水旭町地先護岸補修工事
- ◇ 文化事業振興基金積立金

可決された議案

- 昭和61年度富士川町一般会計補正予算(四号)
- 昭和61年度富士川町土地取得特別会計補正予算(一号)
- 昭和61年度富士川町国民健康保険特別会計補正予算(二号)
- 富士川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 単純な労務に雇用される職員
- 昭和61年度富士川町一般会計の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 公立蒲原総合病院規約の一部を変更する規約について
- 国民健康保険制度に対する都道府県負担の導入反対に関する意見書
- 公共事業費の国庫補助負担率の引き下げ措置反対に関する意見書



12月定例会開催風景



富士川町史追補三号

町議会議長佐野喜平氏逝去



故佐野喜平氏(61)
(新町本町)

町議会議長の佐野喜平氏が、昨年の11月28日逝去されました。同氏は、昭和46年4月町議会議員に当選されて以来、連続四期十五年七月にわたり議員を務められました。

この間、議長、副議長、厚生常任委員長、議会運営委員長、議会選出監査委員など数多くの要職を歴任され、中央公民館建設、

設、共立蒲原総合病院移転改築、富士川クリーンセンター建設など幅広い分野で活躍されました。また、県町村議会の指導者として副会長を60年5月から務められていました。これら長年にわたる功績により、56年11月町自治功労者表彰を、57年10月県町村議会議長会会長表彰を受章され、生前の功績により、61年12月19日勲六等単光旭日章を受章されました。

同氏の長年にわたる功績をたたえ、心からご冥福をお祈りいたします。

県家庭婦人海外派遣団員として 深澤さんが北米諸国を研修訪問



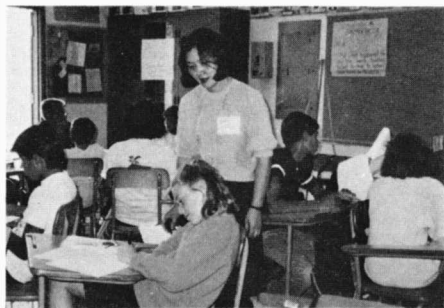
深澤美智子さん(39)
(新町本町)

第五回静岡県家庭婦人海外派遣団(団員二十八人)が去る9月24日から10月7日にかけて北米諸国を研修訪問しました。当町からは深澤美智子さん(新町本町)が選ばれ、派遣団員の

員として同行しましたので、深澤さんが感じたアメリカやカナダの見聞記を寄稿していただきました。今月号ではアメリカを二月号でカナダを紹介します。「緑豊かな市内を日本車が走り、沿道には日本車の販売店も目につきます。ここカルフォルニア州ストックトンには、サンフランシスコからバスで約二時間半、人口十八万人の農業都市で

す。私たちは、婦人に係わる機関や学校の視察、市関係者との意見交換会、現地婦人との交流など、日程いっぱい研修できました。また、家庭滞在では、家庭生活を実際に見聞する貴重な体験の数々でした。

私が滞在したマカロス家の夫人、ローリンは裁判官です。彼女は家事や育児を当然のように夫と分担して行っていました。意外だったのは、大抵の家庭で家計は夫が握っているということでした。食事の準備は、調理時間の短縮を考えて、豊富な種類の冷凍食品を利用。食堂のイスもテーブルもガレージセールで購入したという合理的で堅実な暮らしぶりを学ぶことができました。



小学校視察中(上)・滞在先の夫人などと親交を深める深澤さん



ました。私が訪れたミドルスクールは能力別編成で、優秀な生徒は二段階進級も可能という学校です。服装は自由で、ピアスや化粧をしている生徒もいました。女性教師が「生徒に協力」と思いやりを教えることが難しい」と語っていたのが大変印象的でした。サンフランシスコのボランティアセンターを皮切りに、広いアメリカのほんの一部でしたが、訪問先での女性市長や市会議員、裁判官など、重要ポストへの女性の進出が目立ちました。婦人に関する施設が婦人の手で運営され、それを多く見る現状は私たちがまだ見習う点が多いと痛感しました。」

昭和62年町の目標 「健康な心とからだで 住みよい町に」

昨年の12月10日、町当局や各種団体代表者が出席し、町のことしの目標実行委員会が開催され、昭和62年の目標は昨年引き継ぎ「健康な心とからだに住みよい町に」に決まりました。

委員会では、まず各種団体から昨年の実施状況や反省点が発表され、引き続き62年の目標設定に入り、昨年の目標の継続をという声が多く、万場一致で目標が決まりました。

今後、委員会では、目標実現のためチラシやポスターを印刷し、各世帯や事業所に配布して目標を浸透していくことになりました。

また、各区でも実践できる区目標を決めて推進していくことになりました。

郡社会福祉大会で 四十五人、一団体を表彰

「第十回庵原郡社会福祉大会」が、昨年12月2日蒲原町文化センターで、郡内社会福祉関係団体など約二百人が出席し行われました。式典では、大会名誉会長から全国身障スポーツ大会で三位入賞した深沢祐子さん(大北町)などに表彰状が、また、郡社会福祉協議会会長から四十五人、一団体に表彰状が贈られました。

- 森中 鉄雄 (新町本町)
- 尾崎 光子 (本通二)
- 市川 政男 (南町二)
- 石川 幸男 (仮下町)
- 社会福祉事業団体役員及び従業者
- 植松 美江 (相生町)
- 身体障害者自立更生者
- 岩岡 成子(富士松野)
- 母子世帯自立更生者
- 山田たか子 (宮 町)
- 在宅福祉協働者
- 小林 栄子 (大北町)
- 社会福祉事業施設従事者
- 山崎 正子(松千代保育園)
- 深沢 金子(松千代保育園)
- 植松 清江(岩淵保育園)
- 上野 孝子(北松野保育園)
- 望月 裕子(北松野保育園)
- 社会福祉事業協力団体
- 郡更生保護婦人会

庵原郡社会福祉大会表彰者(敬称略)

- 郡社会福祉協議会会長表
- 彰 民生・児童委員
- 水口 大禮(上 町)
- 斉藤 万平(旭 町)
- ◆表彰状伝達(日本赤十字社)
- 金色有功章(献血五十回以上)
- 片山 政雄 (本通四)
- 銀色有功章(献血三十回以上)
- 大村 正温 (上 町)

わだいの

明るい社会づくり運動富士川支部 富士川駅に座布団を寄贈

明るい社会づくり運動富士川支部(風岡肇支部長・会員五百八十人)が、町社会福祉協議会(望月計夫会長)を通じて、昨年の12月5日国鉄富士川駅(錦織勇駅長)の待合室用にと、座布団二十四枚を寄贈しました。

この座布団は、待合室で電車を待つ乗客のみなさんが少しでも暖かく時間がすごせるようにとの気持で贈られたものです。

錦織駅長さんは「これから寒くなりますので、乗客のみなさんから大変喜ばれると思います。ご厚意に感謝し、大切に使用させていただきます」と話していました。

また、同支部から11月26日、野田山健康緑地公園大師広場に、手づくりの木製ベンチ二脚が寄贈されました。



風岡会長(右から三人目)から錦織駅長(左端)へ座布団が

地域防災訓練に約四千五百人が参加

いつ起こるかわからない「東海大地震にそなえ、昨年12月7日(昭和19年東南海地震発災日)午前9時、駿河湾を震源地とする震度六以上の突発型地震発生を想定した「地域防災訓練」が行われました。

当日の訓練では、地震発生と同時に、ガスの元栓閉止、火の始末、非常持ち出し品の確認などの家庭内訓練を行った後、各自主防災組織ごと訓練会場で、可搬式ポンプ操法、炊き出し、バケツリレー、救出救護、避難誘導などの訓練を、区民一体となり真剣に行いました。この訓練には、幼児からお年寄りまで約四千五百人が参加しました。



訓練中の区民(本通二)

今年の訓練は、混乱もなく無事終了しましたが、各家庭や自主防災組織では、いざという時にそなえ防災資機材の点検などを進めていくことが大切です。

親子で挑戦!

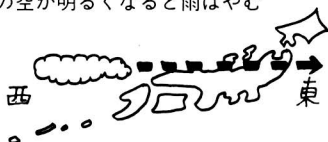
野外生活の知恵 サバイバル入門

昔の人は空の様子、雲の形や風の動き、動植物の変化などを観察して、天気を予知する知恵を持っていました。これを“観天望氣”といいます。かなりの確率で当たるので、野外活動する人は覚えておきたいものですね。

天気の変化を予知しよう

天気の変化は西から東へ

天気の変化は西から東へ移動するのが基本。西の空にはいつも注意しておくことが大切だ。よくいわれることに、次のようなものがある。
■夕やけは晴れの兆し
■中国の上海が雨なら翌日は九州、その翌日は東京が雨
■西の空が明るくなると雨はやむ



高地の気温と体感温度

高度が100メートル上がるごとに、気温は0.6度ほど低下する。平地に比べて山地はそれだけ寒いわけた。また、風速が1メートル増すごとに、体の感じる寒さは1度下がることも知っておこう。



雨となる前ぶれ

- 雲が低くなったら、冷氣と雨の前ぶれ
■山が近くに見えるとき、月に輪がかかった翌日は雨
■朝に草木が乾いているときは午後には雨
■ツバメが低く飛ぶときは雨が近い
■アマガエルがしきりに鳴くと雨

晴天の前ぶれ

- 朝霧、朝露は晴れのしるし
■朝日に霜がキラキラ輝くときは晴れ
■クモの巣に水滴がかかっている日は晴れ
■スズメが朝早くさえずるときは晴れ



社会教育あれこれ

雑煮

正月に雑煮はつきもの。すでに千年の歴史をもつ正月料理である。材料と調理方法は地方により千差万別だが、基本的には切り餅を焼いて用いる関東風と丸餅をゆでて用いる関西風が大別できる。
汁は関東は清汁、関西はみそ汁仕立てにするところが多い。これはある説によれば、江戸は武家中心の世界であったため、正月早タミソをつけるという言葉が嫌い、町民中心の大阪は経済性に重きをおいたためと。
中身は様々である。この季節に手に入れることのできる海の幸、山の幸を入れ、その年の食生活の安定と家族の健康を祈ったものである。
中身はとにかく餅は欠かせない。餅は望に通じ、望月は満月、すなわち円満を表わすには丸がいい。関西では丸餅だからそのまま用いることができるが、関東ではのし餅なので角餅になってしまう。これでは円満を表わすのに困る。
そこで角餅は必ず焼く。焼けば餅はふくらんで丸くなる。関東では雑煮の餅を焼いて用いる習慣である。おもしろい話だ。
雑煮にまつわる話をもう一つ。雑煮を祝う箸は日頃使っている箸を使わず、白木の太箸を箸袋にさして、それに名前を書いて正月三が日使うのだ。
これは足利七代將軍義勝がある年の正月、雑煮を祝った時、餅をはさんだ箸が折れた。正月早々不吉なことがと気を病んでいたところ、その年七月落馬して死んでしまった。それから縁起をかついで太い箸を用いて折れないようにしたのが始まりだと伝えられている。
いずれの話も年頭おめでたい正月にふさわしい縁起をかついだいかにも日本的な発想である。
このようにひとつ雑煮をとってもその故事来歴をひもといてみるとなるほどと思わせるものがある。おもしろい。お宅の雑煮は何風であろうか。一度、ご近所の雑煮と比べてみては。新しい発見があるかもしれない。

家族で話し合おう

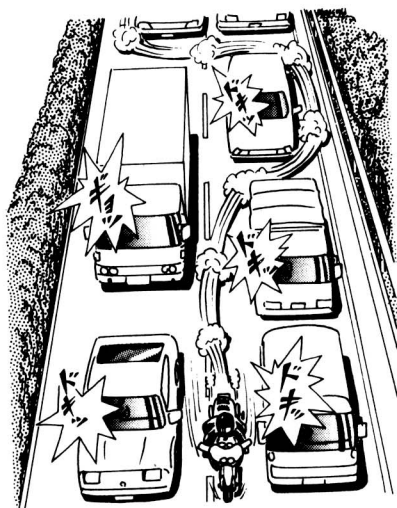
バイク編 (縫うように走る) 忍者走行は危険

図解交通安全

混雑した道路で、車と車の間を縫うようにして走るバイクをよく見かけます。いくら小回りがきくといっても、こんな走り方は危険このうえありません。また、他のドライバーの迷惑になります。

バイクは、乗用車やトラックと比べると車体が低いため、ドライバーから気づかれにくい(被視認性が低い)という特徴があります。むやみに車線を変更するのは、車の陰に隠れたり、飛びだしたりを繰り返しているようなもの。ライダーは「忍者」ではありません。より多くの他

のドライバーに気づかせるには、安全な走り方を心がけましょう。安全な走り方を心がけましょう。安全な走り方を心がけましょう。



12月の交通事故

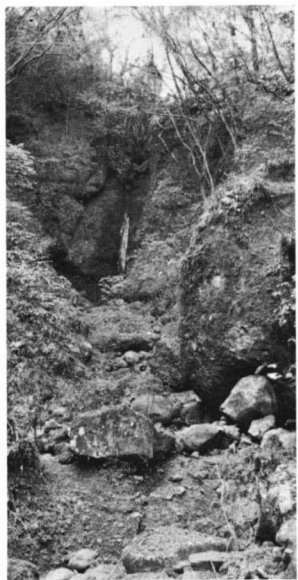
Table with 4 columns: 人身事故, 物損事故, 富土川身延線, 国道一号线. Rows for 県, 町, 国, 他.



町の昔ばなし伝説(十七)

荒沢の不動さん

北松野の有無瀬川上流の人里離れた所に荒沢不動さんのお堂があります。昔、都にいました聖徳太子は、ある日、弟子の荒沢弾正に「お前はいまから私に代わって諸国を遍歴して、最も仏を祀るのにいい場所を選び、安置しなさい」と命ぜられました。弾正は、その日から旅に出て、太子のいわれた仏像をお祀りするにふさわしい場所を探し歩きました。東に向って歩くうちに、富士川のほとりにきました。富士山が美しく眺められました。弾正は富士川をさかのぼるように川岸を歩きますと、富士川に流れ込んでいる川に



荒沢の滝

戸籍の窓

S 61・11・15〜12・14届出分

(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者続柄	新町本町	久保田葵	義博	長女	区名	氏名	年齢
相生町	佐野友之	賢一 二男	四十九町	朝原ゆり香	実	二女	木島	佐藤富作	八〇
堺町	伊東文陽	靖高 二男	宮町	細川里奈	初男	長女	新町	鈴木才一郎	七七
川坂	村田匠	正尚 長男	大雀窪	齋藤晴菜	善則	二女	新町本町	佐野喜平	六一
川坂	渡邊彩乃	太郎 長女	東町一	佐藤順紀	重孝	長男	四十九町	佐野浅吉	七九
			富士見町	小林竜馬	幸夫	二男	本通四	田中福次郎	七二
			八幡町	前田恵里佳	恭次	二女	南町一	佐野光子	六三
			八幡町	稲葉申悟	厚	三男	大北町	杉山つる	八四
			八幡町	望月裕太	朗宏	長男	俣下町	望月まさの	七八

かなしみ

富士松野 山下 翔 徹治 二男
 俣下町 石川裕基 和司 長男

お母さんの知恵袋

「朝食におかゆ」

「朝ご飯、しっかり食べよう」

正月中の胃のつかれ、朝起きたばかりで食欲不振、そんな時「ニラ玉雑炊」はいかがですか。残りご飯をさらりと煮て、ニラと卵で手間も時間もかかりません。起きがけの食事、また、かさばらない食事として最適ですね。この寒い時期、おかゆの温かさが体温の上昇を促し、ウォーミングアップ食として最高です。加えて長時間にわたり高温が保たれます。澱粉は最も速やかにエネルギーとして分解され、デスクワークの多い中高年者におかゆの付け合わせとして卵料理やみそ汁を添えると一層バランスがよくなります。青少年や身体活動量の多い仕事に従事する成人は、これに油を使った料理を添えると、午前中の活動のスタミナを維持するのに役立ちます。

一里塚



先日、本だなの整理をしよう
と、ゴミ袋を片手に、本だなの前に座りこんだ。いろいろな資料やパンフレットを順序よく並べたり、本の大きさをそろえたりと、調子よく進んでいたが、ふと目にとまったものがあつた。学生時代に書いたレポートや作文、そして卒業論文があつた。

私自身、夢や理想は、確かに私のおかしなことが、忘れてか
けていたものを、自分の中によ
みがえらせることができた。
新しい年が始まったことだ。
私自身の夢や理想に、少しでも
近づけるように、これからの
日々を生活していこうと思う。
毎年、今年こそは、今年こそ
はの繰り返しだが、今年こそは、
いえ、今年からはがんばろうと
思う。

町への寄付金 (敬称略) (S・K)

金額	氏名	年齢
十万円	石川 幸男 (俣下町)	七八
十万円	社会福祉事業へ	
十万円	S 61・12・2〜12・10	
十万円	市川 政男 (南町一)	六三
十万円	文化事業振興基金へ	
五万円	高橋 文雄 (富士宮市)	八四
五万円	社会福祉事業へ	
百万円	斉藤 万平 (旭町)	八四
二億円	文化事業振興基金へ	
	佐野 倫史 (新町本町)	七九
	教育振興事業へ	
	故野田力三相続人代表	
	野田 正男 (東京都)	七二

一年の計を立てると共に、体の
バランスを整えよう。(婦人会)

俳句会

〈文協俳句会〉

清水町	白川滋賀子
南町二	望月美奈子
深秋や伊万里の香炉匂ひたち	
大北町	川崎 麻子
花八つ手淡き縁の人の計を	
東町二	望月 喜子
年越しの蕎麦打つ母に傘寿見え	
富士見町	錦織 好江
掃き寄すも紅葉の色を失はず	
富士見町	清水 淑子
逃げ易き陽にふるもどき割れに けり	
八幡町	西森千鶴江
眠つむれば見ゆる濁世よ日向ほ こ	
八幡町	鈴木りつ子
セーターを迷わず殖やし夜の集ひ	
上 町	斉藤つね子
通り越す人の背ナ追ふ年の暮	
堺 町	伊東す江の
保育器の嬰に乳搾る寒夜かな	
八幡町	白井十世子
山里の暮るるに早し菜を抱え	
富士見町	清水 寿枝
空青く干大根のまつ白に	
東町二	加藤 京子
小春日や航跡光り岬のぶ	